

WPL（女性政治指導者）サミット 2019 成果宣言 SDGsを通じて社会の発展に向けてアクションを起こそう

私たち女性政治指導者は、6月25日から27日にかけて日本の東京でWPLと衆議院の共催によるWPLサミット2019「持続可能な開発目標(SDGs)を通じて社会の発展に向けてアクションを起こそう」に参加した。

最良かつ迅速なSDGsの達成とインパクトのあるアクションを起こすことにコミットした女性政治指導者が、世界中から300名を超える規模でWPLサミット2019に集い、以下の成果を得た。

- WPLサミットが、アジア・太平洋地域で初めて開催されたことを祝する。世界人口の60%以上が生活し、世界の経済成長の60%以上を生み出すアジア地域は、政治、経済及び文化の発展において、世界の中心的な役割を果たす。アジア・太平洋地域における女性の権利の向上及び公的場面における社会参画の促進は、地域のみならず世界全体の発展に資するものである。
- 生活者の多様なニーズに対応した災害に強い社会の構築等、あらゆる政策により多くの女性の視点がもたらされることの重要性を認識し、政治における男女間の公平を推進する。地方自治体の議会をはじめとした全ての政治的レベルにおける女性の参画が促進され、多様な民意が反映されることを奨励する。東京におけるWPLサミット2019で発表されたUN WOMEN（国連女性機関）による国会議員に対する行動喚起を支持するとともに、世界中の女性及び女兒の生活並びに全ての社会の改善を議会において推進するためのグローバルなガイドラインが紹介されたことを歓迎する。
- 男女間の就業率の格差を2025年までに25%減少させるとするG20の意欲を称賛する。女性の経済への参画が世界各国における開発と成長に不可欠であるとの主張に賛意を示す。
- SDGsは、共通のロードマップであることを認識する。WPLサミット2019は、初めての女性政治家によるSDGsに関する世界的な会合となる。SDGsの達成は、全ての人の生活の質を改善し、幸福や社会全体の発展を生み出す。多様性及び包摂性は、成功及び成長の重要な要素であり、年代、能力、性別、民族その他の要素の多様性の豊かさこそが国全体としての進歩を可能とすることを主張する。
- 環境問題は相互密接に関連していることを認識し、気候変動に対処するための共通の基盤を見出し、持続可能な社会と経済成長を達成するというG20の掲げる目標を支持する。より広い視点での循環経済の形成を目指していくことが不可欠である。「もったいない精神」の下、国際的な資源循環体制の構築及び低汚染・低排出型社会への移行を促進する。また、海洋プラスチックごみに関する国際枠組の構築に関するG20の決定の実施を奨励する。
- 女性特有の健康に関するニーズを理解し、女性の健康を生涯にわたり包括的に支援することは、個々の女性と社会全体の双方の福祉を確保するために不可欠であることを認識する。また、母子保健のベストプラクティスを推進する。
- 私たち女性政治指導者は、女性のエンパワーメントの推進、さらには「誰ひとり取り残さない」社会の実現に向けて行動する。私たちは、女子教育の充実が基礎となることを認識する。このサミットの直後に日本の大阪で開催されるG20首脳会議の参加者に対し本成果を報告するとともに、特に女子教育支援について具体的な行動をとることを提言する。